

沖永良部島の国頭岬灯台を初公開 ～奄美群島復帰70周年・国頭岬灯台50周年～

令和5年10月30日
奄美海上保安部

くにがみみさき

奄美群島は今年で日本復帰70周年、沖永良部島の最北端の海のみちしるべ国頭岬灯台も設置から50周年、沖永良部の皆様のこれまでの海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて、10月30日、国頭岬灯台を初公開、地元の和泊町立国頭小学校の児童24名と和泊中学校の生徒44名及び教諭並びに和泊町の前(すすめ)町長や町の職員など約90名が見学しました。

児童、生徒は、海上保安業務や灯台など航路標識の役割やしきみなど学習、普段は登れない灯台の上から沖永良部ブルーの美しい空と海や緑の大地の絶景に大歓声をあげました。

前町長は、奄美海上保安部長が委嘱する国頭岬灯台の灯火監視協力者、20年間も灯台の灯りを見守り続け、台風の通過後には灯台の施設が壊れていないか、灯台まで足を運んで確認もいただきます。

また、町長のお父様も20年間、灯火監視協力者を務められ、親子で40年もの間、ご協力頂いています。

町長は小学校の児童らに、「君達は、沖永良部島の宝、この灯台の灯りのように、いつまでも輝き続けて、沖永良部のために役立ってください。」と述べられました。新聞1社とケーブルテレビが取材、広く報道されました。

奄美海上保安部は、地域の皆様との絆を大切に、奄美群島の安全安心に努めます。

公開にあたり、和泊町教育委員会のご協力と(公社)燈光会及び(公財)海上保安協会のご支援に深く感謝いたします。



奄美群島日本復帰
70周年

